

# ThothLink 2.0 - インストールガイド



オープンソース・ソリューション・テクノロジー (株)

更新日: 2014 年 10 月 2 日

## 目次

---

1	はじめに	2
1.1	本書の目的	2
1.2	前提条件	2
2	システム要件	2
2.1	ソフトウェア要件	2
2.2	ハードウェア要件	3
2.3	対応ブラウザ	3
2.4	パッケージ構成	3
3	インストールと基本設定	4
3.1	Apache HTTP Server のインストール	4
3.2	トートリンク・パッケージのインストール	4
3.3	トートリンクの基本設定	4
3.4	トートリンクの起動	5
4	高度な設定	5
4.1	HTTPS 設定	5
4.2	HA(高可用性) 構成	5
5	詳細設定項目	6
6	ログ設定	8
7	ライセンス	8

## 1 はじめに

### 1.1 本書の目的

本文書は、弊社提供のトートリンクソフトウェアパッケージのインストールと初期設定を実施するための手順書です。トートリンクのインストールやアップデートの際には、必ず本文書の内容を確認してから作業を実施してください。

本文書に関する記載内容について疑問点等がある場合には、弊社サポート窓口までお問い合わせください。

### 1.2 前提条件

本書は、特に指示がない限り、以下のような条件を前提に記述しています。これと異なる場合は、適宜内容を読み替えるか、必要な作業を別途実施してください。

- 作業者が OS と関連ソフトウェアの管理や操作手順についての一般的な知識を有すること。
- OS と関連ソフトウェアの基本設定が適切になされていること。
- 管理ユーザー root のシェル端末で作業すること。(作業ユーザーを指定している場合を除く)
- OSSTech 製品パッケージファイル群をインストール対象 OS 環境の/opt/osstech/tmp ディレクトリ以下にコピーしておくこと。
- ネットワーク内で対象となるファイルサーバー (CIFS サーバー) が動作している事。

## 2 システム要件

### 2.1 ソフトウェア要件

- RedHat Enterprise Linux 7 (x86\_64)
- CentOS 7 (x86\_64)
- RedHat Enterprise Linux 6 (x86\_64)
- CentOS 6 (x86\_64)

## 2.2 ハードウェア要件

---

- メモリ:1GB 以上
- ディスク
  - － インストール領域: /opt/osstech 1GB 以上
  - － キャッシュ領域: 1GB 以上 (アップロードするファイルサイズに依存)

## 2.3 対応ブラウザ

---

対応ブラウザ一覧は ThothLink ユーザーマニュアルを参照して下さい。

## 2.4 パッケージ構成

---

トートリンクと関連パッケージのファイル名一覧は以下の通りです。

ファイル名のうち、「OS」には OS の略称とメジャーバージョン番号、「arch」にはアーキテクチャ名が入ります。CentOS のパッケージは RHEL と共通です。

- OSSTech ソフトウェア製品基本パッケージ
  - － osstech-base-3.0-x.OS.arch.rpm
- OSSTech Samba パッケージ
  - － osstech-libiconv-1.10-x.OS.arch.rpm
  - － osstech-samba3.6-libsmbclient-3.6.19-x.OS.arch.rpm
  - － osstech-samba3.6-libwbclient-3.6.19-x.OS.arch.rpm
  - － osstech-samba3.6-libtalloc-2.0.5-x.OS.arch.rpm
  - － osstech-samba3.6-libtdb-1.2.9-x.OS.arch.rpm
  - － osstech-samba3.6-libevent-0.9.11-x.OS.arch.rpm
- OSSTech Python パッケージ
  - － osstech-python34-3.4.1-x.OS.arch.rpm
  - － osstech-python34-mod\_wsgi-4.2.6-x.OS.arch.rpm
- OSSTech ThothLink パッケージ
  - － osstech-thothlink-2.0.x-y.OS.noarch.rpm
  - － osstech-thothlink-semodule-2.0.x-y.OS.noarch.rpm
  - － osstech-thothlink-libs-2.0-x.OS.arch.rpm

## 3 インストールと基本設定

### 3.1 Apache HTTP Server のインストール

トートリンクは Apache HTTP Server 2.2 で動作します。Apache HTTP Server がインストールされていない場合、以下のコマンドを実行しインストールを行ってください。

```
# yum install httpd
```

また、トートリンクは `mod_python` と競合します。`mod_python` がインストールされている場合は以下のコマンドを実行し、アンインストールを行ってください。

```
# rpm -e mod_python
```

### 3.2 トートリンク・パッケージのインストール

RPM パッケージ一式を `rpm` コマンドでインストールします。パッケージの依存関係の問題でエラーとなる場合は、別途必要なパッケージをインストール後、再試行してください。

```
# cd /opt/osstech/tmp/  
# rpm -Uvh noarch/*.rpm i386/*.rpm
```

```
# cd /opt/osstech/tmp/  
# rpm -Uvh noarch/*.rpm x86_64/*.rpm
```

### 3.3 トートリンクの基本設定

`/opt/osstech/etc/thothlink/thothlink.py` をテキストエディタで開き、以下の様に CIFS サーバー (Samba) の NetBIOS 名もしくは FQDN を指定します。

```
SERVERS = [ 'サーバー名' ]
```

### 3.4 トートリンクの起動

---

設定が完了したら WEB サーバーを再起動します。

```
# service httpd restart
```

WEB ブラウザで `http://ホスト名/` にアクセスし、動作確認を行ってください。

## 4 高度な設定

### 4.1 HTTPS 設定

---

トートリンクはデフォルトで HTTP プロトコル (80 番ポート) で動作します。

HTTPS で動作させる場合は、HTTPS のディレクティブに以下の設定を追加して下さい。  
(RHEL の場合、`/etc/httpd/conf.d/ssl.conf`)

```
<VirtualHost _default_:443>
  (略)
  Include /opt/osstech/etc/thothlink/thothlink.conf
</VirtualHost>
```

同時に `/etc/httpd/conf.d/thothlink.conf` の Include 文をコメント化します。

```
<VirtualHost *:80>
  (略)
  # Include /opt/osstech/etc/thothlink/thothlink.conf
</VirtualHost>
```

最後に WEB サーバーを再起動します。

```
# service httpd restart
```

WEB ブラウザで `https://ホスト名/` にアクセスし、動作確認を行ってください。

### 4.2 HA(高可用性) 構成

---

トートリンクは負荷分散機などを利用して可用性を高める事ができます。この際 2 台以上のサーバーでログインセッションを共有する為にセッションサーバーの導入が必要となります。以下の手順でセッションサーバーの導入とトートリンクの設定を行ってください。

### 1. セッションサーバー (memcached) のインストールと起動

```
# yum install memcached
# chkconfig memcached on
# service memcached start
```

### 2. ThothLink の設定 /opt/osstech/etc/thothlink/thothlink.py に以下を追記

```
SESSION_STORE = {
    'BACKEND': 'django.core.cache.backends.memcached.MemcachedCache',
    'LOCATION': '127.0.0.1:11211',
}
```

複数のセッションサーバーに分散する場合は以下の様に設定します。

```
SESSION_STORE = {
    'BACKEND': 'django.core.cache.backends.memcached.MemcachedCache',
    'LOCATION': [
        '1台目のIP アドレス:11211',
        '2台目のIP アドレス:11211',
    ]
}
```

### 3. ThothLink の再起動

```
# service httpd restart
```

## 5 詳細設定項目

トートリンクの設定は /opt/osstech/etc/thothlink/thothlink.py に行います。設定ファイルの編集後 WEB サーバーの再起動が必要です。

CIFS サーバー (Samba) の NetBios 名を指定します。

例)

```
SERVERS = [ 'サーバー名' ]
```

複数指定することも可能です。

例)

```
SERVERS = [ 'サーバー 1', 'サーバー 2' ]
```

問題調査時に使用します、デフォルトで False です。

例)

```
DEBUG=True
```

JavaScript の問題調査時に使用します、デフォルトで False です。

例)

```
JS_DEBUG=True
```

False に設定すると JavaApplet は非表示になります、デフォルトは True です。

例)

```
JAVA_UPLOADER=False
```

トップページにアクセスした際、特定のサーバーのログイン画面へリダイレクトを行います。対象の CIFS サーバーが一つしかない場合に使用します。デフォルトは無効です。

例)

```
TOP_REDIRECT=' /link/サーバー名 '
```

ユーザー名の前にドメイン名を付加して認証を行います。

例)

```
DOMAIN='ドメイン名'
```

と設定すると、「ドメイン名¥ユーザー名」で認証を行います。



ブラウザと ThothLink の通信タイムアウト時間を設定します。規定値は 15000 ミリ秒です。

タイムアウト値を 20 秒に変更する場合以下のように設定します。

例)

```
JS_TIMEOUT = 20000
```

Cookie に secure 属性を付与します。これにより、http 通信時に Cookie が送付されなくなります。既定では False です。

例)

```
COOKIE_SECURE = True
```

## 6 ログ設定

ThothLink のアクセスログは Apache HTTP Server のログとして記録されます。

標準では /var/log/httpd/access\_log、HTTPS を利用している場合は、/var/log/httpd/ssl\_access\_log に出力されます。

アクセスログに認証済みユーザ名を記録する場合は Apache HTTP Server の設定ファイル (/etc/httpd/conf/httpd.conf) を以下のように編集します。

```
LogFormat "%h %l %u %t \"%r\" %>s %b %{X-USERNAME}o" common
CustomLog logs/access_log common
```

## 7 ライセンス

トートリンクは GNU 一般公衆利用許諾契約書 (バージョン 2 以降) に基づいてリリースされています。GPL ライセンスの正式な条件については、<http://www.fsf.org/licenses/> を参照してください。

トートリンクは以下のアイコンを使用しています。

- Crystal Clear



- <http://www.everaldo.com/crystal/>
- Farm-Fresh Web Icons
  - <http://www.fatcow.com/free-icons/>